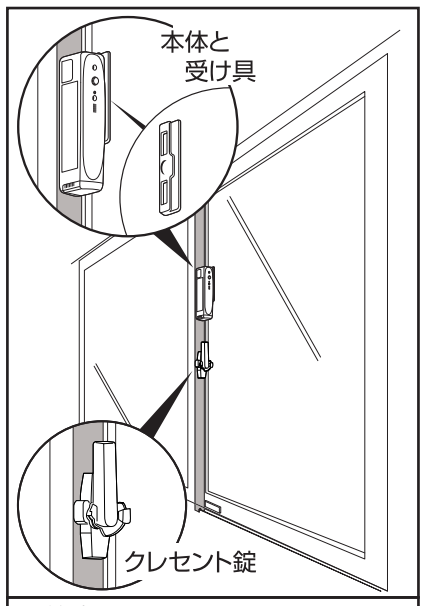
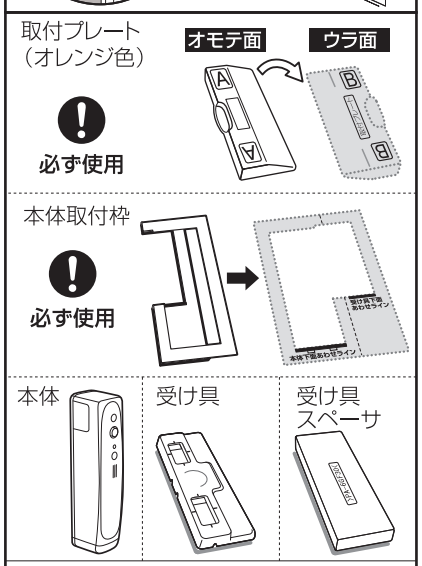
2.取付け

1 設置イメージ図



2 付属品の準備

取付プレート（オレンジ色）、本体取付枠、本体、受け具、受け具スペーサを準備してください。



⚠ 各部品を床面に落とさないよう注意してください。床面をキズつけ、補償問題になることがあります。

取付プレート（オレンジ色）と本体取付枠は、本体と受け具を正確に取付けるためのものです。必ず使用してください。

3 窓をしめる

4 クレセント錠をしめる

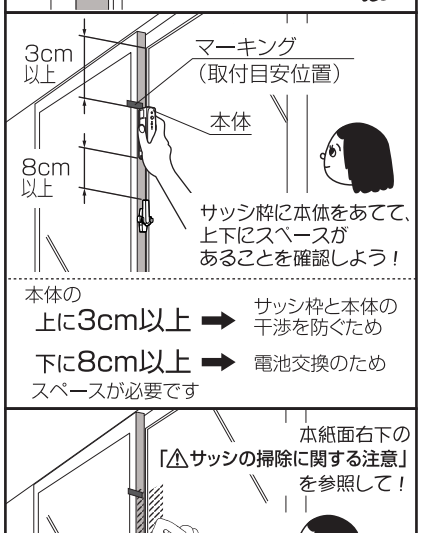
窓のガタツキがないか、未調整がないか確認してください。ガタツキがあり、未調整のサッシには取付けできません。

5 設置高さを決める（スペース確認）

取付けたい高さに本体をあててください。このとき、上に3cm以上、下に8cm以上のスペースがあることを確認してください。

確認ができたら養生テープ等でサッシ枠にマーキングしてください。

設置高さは右図の範囲内にてお客様にご相談の上、決めてください。

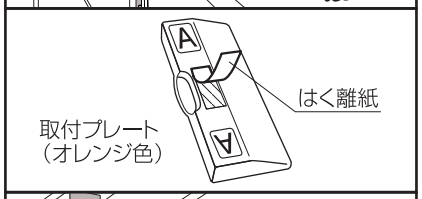


6 取付面を掃除する

※本紙面右下の「⚠サッシの掃除に関する注意」を参照

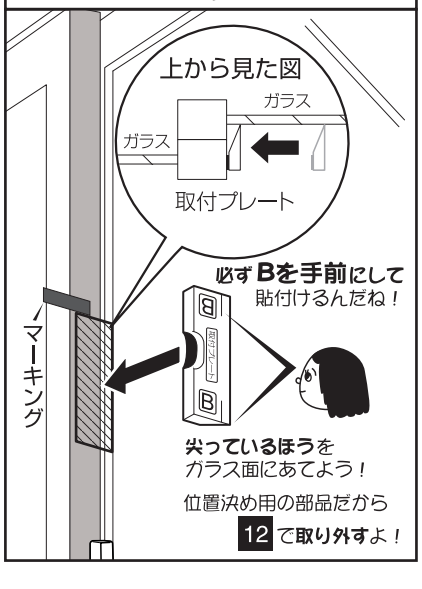
受け具を貼り付ける箇所の汚れを無水エタノールで拭き取り、十分乾燥させます。本体取付面のゴミや油汚れを乾いた布などで拭き取ってください。サッシ表面を傷めることがありますので無水エタノール等で拭く場合は注意してください。

7 取付プレートのはく離紙をはがす



8 取付プレートをサッシ枠に貼付ける

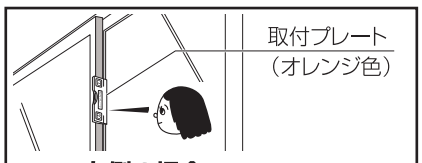
マーキングの高さにて図のようにB面を手前にして尖っているほうを**ガラス面に突きあてながら**、サッシ枠に貼付けてください。



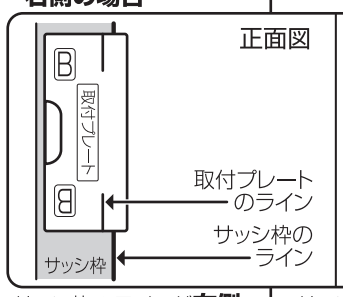
⚠ 取付プレートは本体と受け具の位置決め用部品です。**12** で取外します。

9 サッシ枠のラインの位置を確認する

正面から取付プレートを見て、サッシ枠のラインの位置を確認してください。



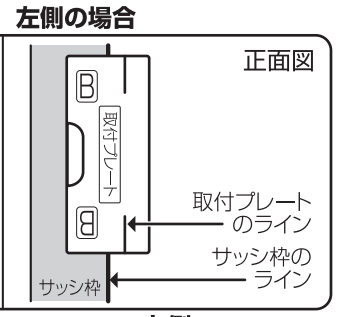
右側の場合



サッシ枠のラインが**右側**の場合、受け具をそのまま使用します。

10 の作業へ

左側の場合

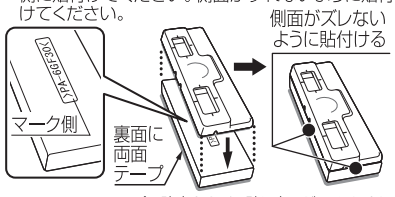


サッシ枠のラインが**左側**の場合、**受け具に受け具スペーサ**を事前に貼っておきます。下記の手順で貼り付けてください。

❶受け具と受け具スペーサを準備します。

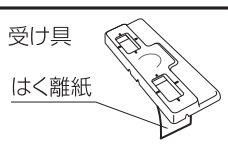
❷受け具の裏面のはく離紙を剥がします。

❸受け具を受け具スペーサのマーク〈〉PA-6GF30〈〉側に貼付けてください。側面がずれないように貼付けてください。



⚠ ■両面テープは強力なため、貼り直しができません。
■受け具と受け具スペーサがずれると、正常に動作できない事があります。

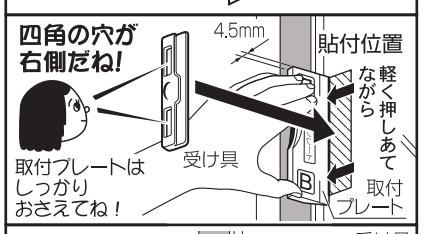
10 受け具または受け具スペーサのはく離紙をはがす



11 取付プレートをおさえながら受け具をガラス面に貼付ける

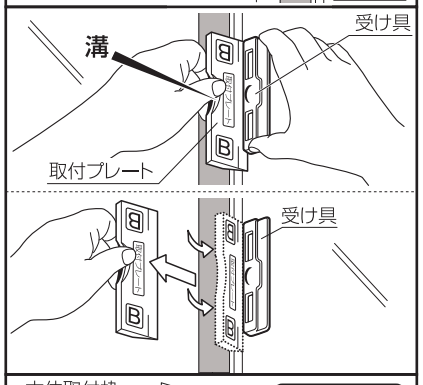
図のように**取付プレート**を**手でおさえ、受け具**を**取付プレートに軽く押しあてながら**ガラス面に貼付けてください。

⚠ 両面テープは強力なため、貼り直しができません。



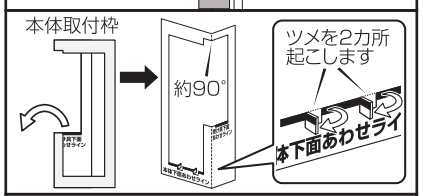
12 受け具をおさえながら取付プレートを取外す

受け具には取外し用の溝があります。溝に指を引っ掛け取外してください。
サッシに両面テープが残った場合はきれいに取り除いてください。

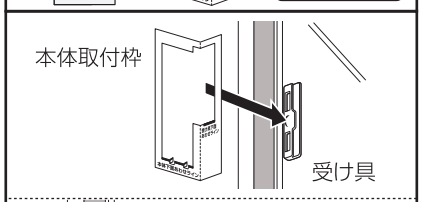


13 本体取付枠を広げ、ツメを起こす

付属の本体取付枠を図のように約90°広げてください。



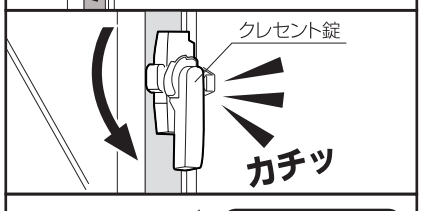
14 本体取付枠を取付ける



受け具の下に合わせ、テープでサッシ枠に固定する

⚠ ガラス面にはテープ止めしないでください。

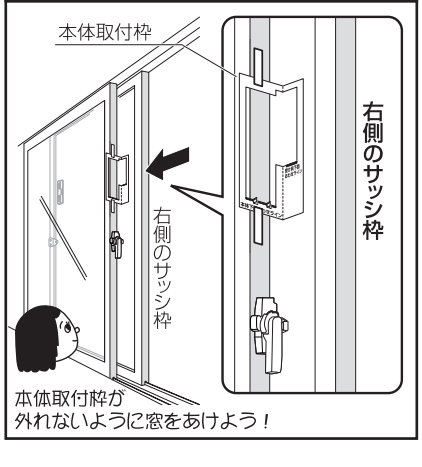
15 クレセント錠をあける



16 右側の窓をあける

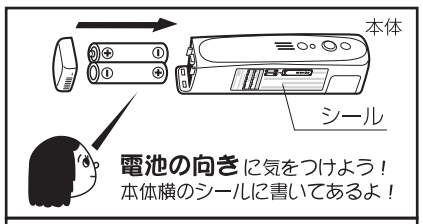
右側の窓を大きく開けてください。このとき、**右側のサッシ枠が本体取付枠付近にくるまで**あけてください。

19 の作業で本体が取付けやすくなります。



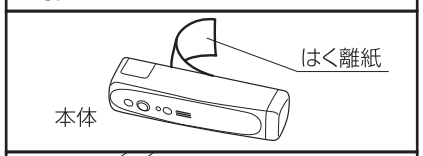
17 電池を入れる

本体に付属の乾電池をセットしてください。



18 本体のはく離紙をはがす

⚠ 気温が低い場合、両面テープを暖めてから取付けてください。両面テープの性能を発揮できない場合があります。



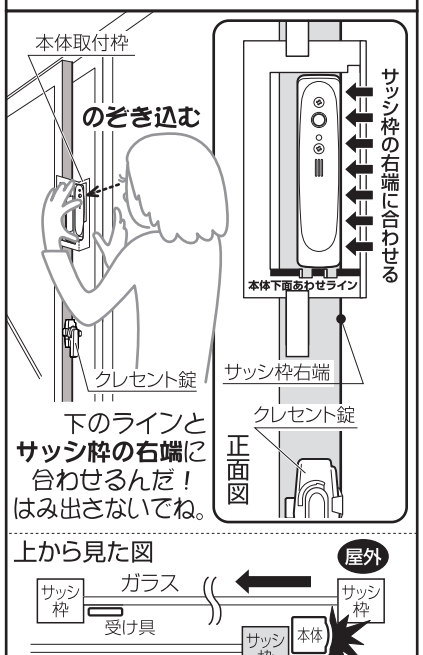
19 本体をサッシ枠に軽く貼付ける

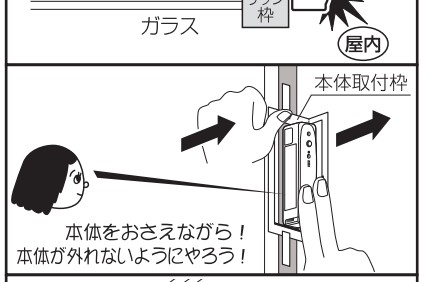
本体取付枠下の黒ラインと**サッシ枠の右端**に合わせはみ出さないように貼付けてください。

⚠ 両面テープは強力なため、貼り直しができません。

⚠ 黒ラインは受け具との位置合わせ、サッシ枠右端は受け具との距離合わせのために行ないます。本体を正確な位置に取付けるために確実に行なってください。

⚠ サッシ枠の左端をはみ出して貼付けてしまうと逆のサッシ枠にあたり、本体およびサッシ枠が傷付く恐れがあります。

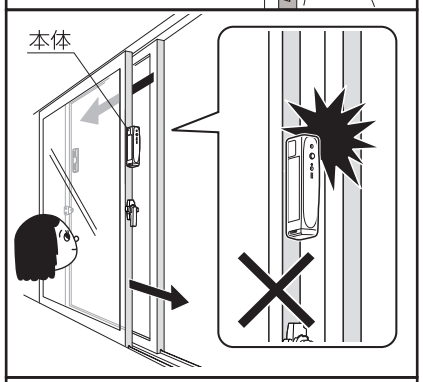




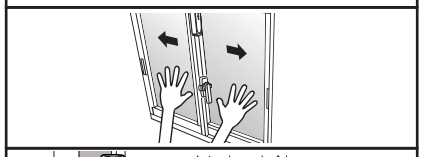
20 本体取付枠を取外す

21 右の窓を全開にし、本体がサッシ枠とあたらないか確認する

当たる場合は **19** に戻ってください。



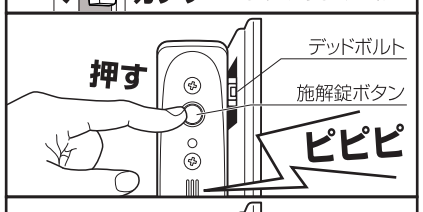
22 窓をしめる



23 クレセント錠をしめる

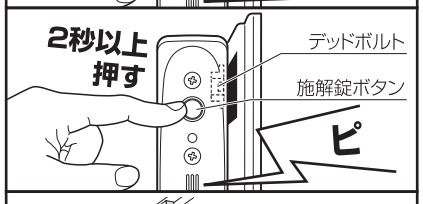
24 施解錠ボタンを押す

「ピピピ（3回）」とブザーが鳴り（施錠完了）デッドボルトが本体から飛び出したことを確認してください。「ピピピピピピ（6回）」とブザーが鳴った場合、正常に施錠できていません。本体を一度外し、**14** に戻り、再度作業を行ってください。



25 施解錠ボタンを2秒以上押す

「ピ」とブザーが鳴り（解錠完了）デッドボルトが本体に収まったことを確認してください。

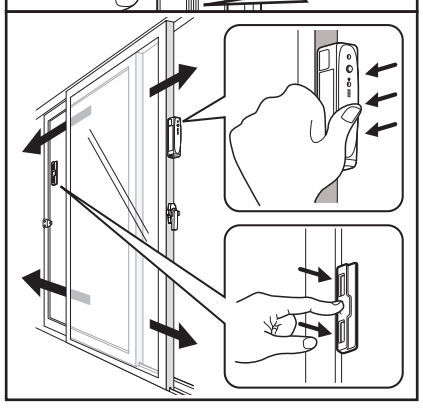


26 本体と受け具をしっかり押し付ける

クレセント錠をあけ、窓を全開にし、本体と受け具をしっかり押し付けてください。本体と受け具の裏側にある両面テープは強く押し付けることにより粘着力が高まります。しっかり押し付けてください。

⚠ 気温が低い場合、両面テープを暖めてから取付けてください。

⚠ 10kg以上の力で押してください。



以上で取付完了です。
裏面の 3.取付後の確認 を行なってください。

⚠ サッシの掃除に関する注意

- 拭き取りが不十分で汚れが残っている場合、受け具が脱落し十分な防犯性能が得られない上、作動不良・誤報の原因になります。
- 防犯フィルムの上に受け具を貼らないでください。受け具が脱落し十分な防犯性能が得られない上、作動不良・誤報の原因になります。
- 特殊表面処理してあるガラスについては無水エタノールを使用する前に、ガラスの取扱説明書を確認してください。ガラスの表面処理を害する原因になります。

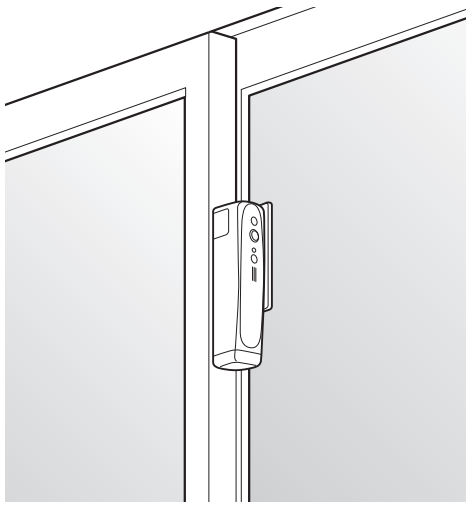
MAX®

JT10185(00/00)

取付説明書 販売店・工事店さま用

マックス 窓施錠センサー

PG-W101WL-L



お願い
- ●正しい取付をしていただくために、必ずお読みください。
- ●取付後に必ずお客様に商品説明をしていただき、この取付説明書を取扱説明書と一緒に、お渡しください。
- ●正しい設置および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

⚠ 安全上のご注意

●安全にご使用いただくために必ずお守りください。

○ご使用の前に、この事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
○この項に示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
○ここでの『人』とは、使用者のみでなく、ご家族、来客者も含みます。

▼表示区分の意味は次の通りになっています

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

▼図記号の意味は次の通りになっています

❗ 「必ず行うこと」

⚠ 「注意喚起」

⚠ 警告

❗ **設置工事は現場の設置図および取付説明書に従い、必ず付属の部品、指定の取付治具を使って確実に行う。**
取り付け不完全の場合は落下によりけがをしたり、窓サッシ・床面にキズをつける恐れがあります。また、作動不良・誤作動・誤報の原因になります。

❗ **指定の電池を極性に注意して表示どおりに入れる。**
電池の破裂、発熱、液漏れの原因になります。

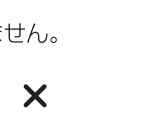
❗ **設置終了後は、設置工事が確実にできているか確認する。**
設置が不完全の場合は落下によりけがをしたり、窓サッシ・床面にキズをつける恐れがあります。また、作動不良・誤作動・誤報の原因になります。

⚠ 注意

❗ **取付の際は、取付する窓サッシの下面・床面に毛布などを敷いてください。**
毛布などを敷いていないと窓サッシ下面・床面をキズつけ、補償問題になることがあります。

❗ **取付後は、金属片・木くずなどをきれいに取り除いてください。**
踏んで、けがの原因になることがあります。

窓の開閉時に、指のはさみ込みに注意してください。



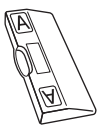
1.取付前の準備

梱包内容の確認

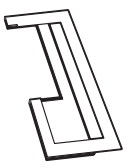
●取付の前に、必ず確認してください。

本体（1台）

受け具（1個）


取付プレート（オレンジ色）

受け具スペーサ（1個）


本体取付枠（1個）

単3形アルカリ乾電池（2本）※動作確認用

取扱説明書（保証書）
※必ずお客様に渡してください。

取付説明書（本書）
※この取付説明書を表します。
※必ずお客様に渡してください。

セキュリティ警戒シール（1枚）

取付工具一覧

●取付に際して、次の取付工具が必要です。（付属ではありません）

養生テープ

メジャー

ウエス・毛布など

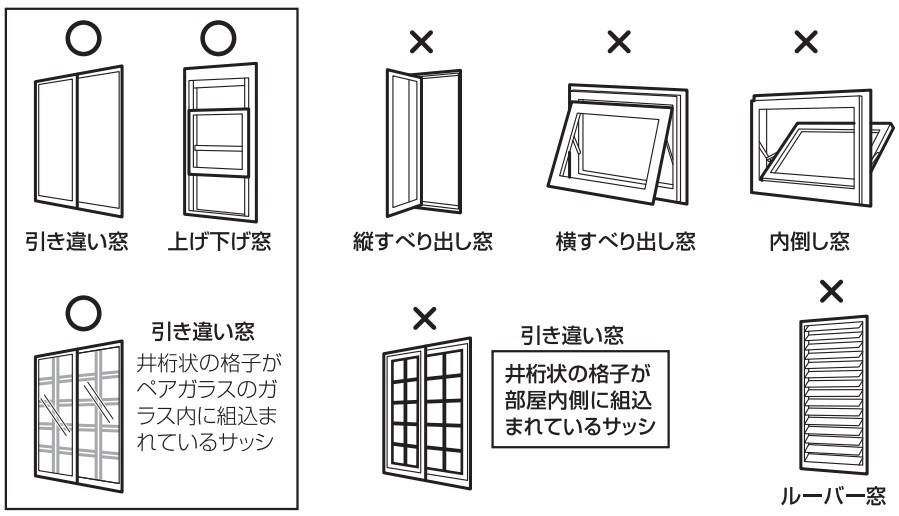
脱脂用無水エタノール

※設置面の汚れがひどい場合、使用してください。
サッシ表面を傷める場合があります。取扱いは十分注意してください。

適応窓種の確認

引き違い窓、上げ下げ窓等

※縦すべり出し窓、横すべり出し窓、内倒し窓、ルーバー窓等には設置できません。引き違い窓、上げ下げ窓でもサッシかまちがハメコミ式（簡単に外れてしまうもの）、アタッチメントガラスを使用したサッシには設置できません。
※くもりガラスや模様の入ったガラス、表面のでこぼこしたガラスには設置できません。



① 設置環境の確認

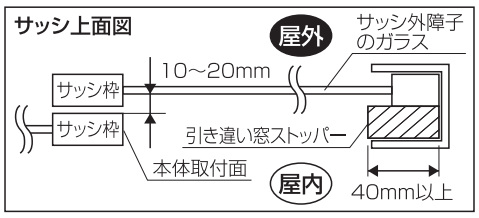
居室、通路等の窓を対象としています。
浴室等の水滴のかかる窓、その他湿気の多い場所の窓では使用できません。

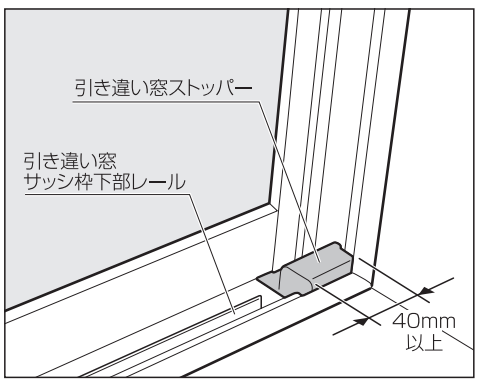
注意 ⚠ **浴室等の水滴のかかる窓、その他湿気の多い場所の窓で使用しないでください。誤作動、故障の原因になります。**

② 取付条件の確認

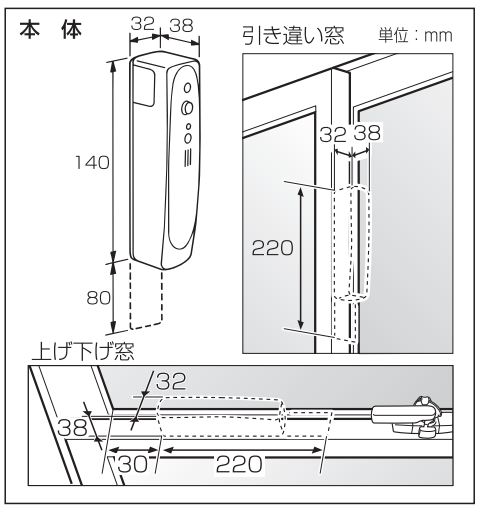
下記寸法が確保できていない場合、本製品は取り付けることができません。

- 40mm以上の引き違い窓ストッパーが設置されていること
- サッシ外障子のガラス内面からサッシ枠までの寸法が10～20mmであること
- 本体取付面が平面であること

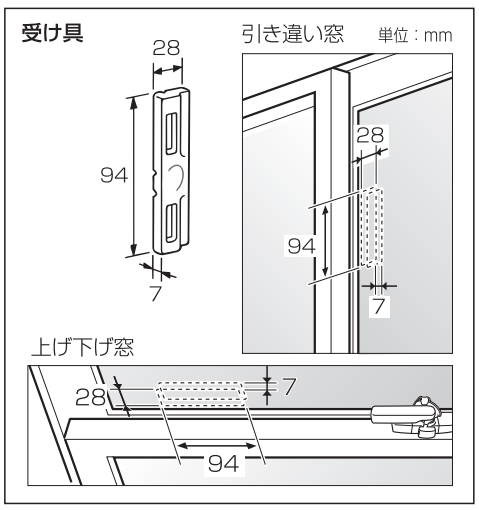




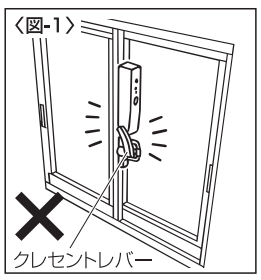
③ 取付前のスペースの確認

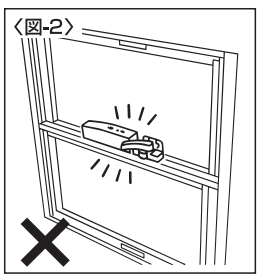


本体の設置に必要なスペースは縦220×横32×厚38mm以上です。本体寸法は縦140×横32×厚38mmですが、更に電池交換の為に本体下側に縦80mmのスペースが必要です。

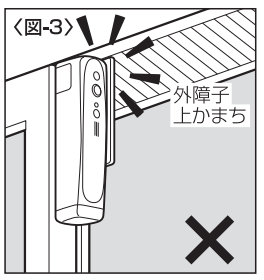


受け具寸法は縦94×横28×厚7mmです。
サッシ外障子のガラス室内面に貼り付けます。





設置箇所に十分なスペースを確保できるか確認してください。クレセント施錠時にクレセントレバーが設置スペース範囲内に入らないか確認してください。〈図-1〉〈図-2〉



防犯性能上、窓施錠センサーの設置箇所はできるだけ高い位置が望ましいですが、その際、窓施錠センサーの設置スペースを確保できてもその場所が外障子上かまちに近い場合には、受け具が外障子上かまちと干渉し、設置できない場合がありますのでご注意ください。〈図-3〉

⚠ 注意

火事、地震等の災害時に本体のボタンを操作して、解錠して窓から外へ出ることを考慮して、お客様（ご家族）の手の届く高さに設置する等、お客様と設置高さを決めてください。手の届かない高さに設置すると災害時に解錠できない原因になります。

④ 設置するサッシのガタツキの確認

窓施錠センサーを設置するサッシ（主に引き違い窓サッシ）にガタツキがないか必ず確認してください。サッシにガタツキがある場合、窓施錠センサーを設置して作動させた際に、施錠不良となることがあります。以下の様な場合は必ずサッシのガタツキを修正してください。

- ●サッシを閉め切ったときにサッシ枠と障子が傾いて閉まっていてガタツキがある場合は、サッシ障子の戸車を調整してください。その後クレセントを締めて、クレセントとクレセント受け具のガタがある場合、またはクレセントが締まらない（締める時にクレセントの動きが渋く締め切れない）場合は、クレセントとクレセント受け具の位置を調整してください。
  クレセントを締めた時に内外の障子が左右に動かずに（締めすぎずに）、なおかつガタツキがないように適切に調整してください。
- ●サッシを閉め切ってクレセントを締めた時、サッシ障子にガタツキがある場合は、クレセントとクレセント受け具の位置を、上記の要領で適切に調整してください。
- ●サッシを閉め切ってクレセントを締めた時、クレセントが締まらない（クレセントの動きが渋く締め切れない）場合にも、同様にクレセントとクレセント受け具の位置を、上記の要領で適切に調整してください。

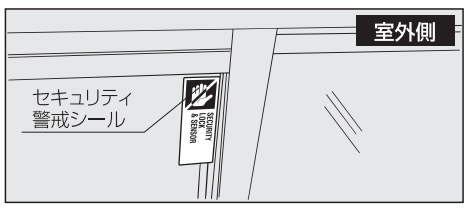
2.取付け

取付けは裏面を参照に作業を行ってください
※上げ下げ窓への取付けは別紙「2. 上げ下げ窓への取付け」を参照に行ってください。

3.取付後の確認

❶ 窓を閉めクレセント錠を締め、本体の施解錠ボタンを押します。
❷ 「ピピピ」という作動音が鳴り、施錠されたことを確認します。
❸ 施解錠ボタンを長押し（2秒以上）します。
❹ 「ピ」という作動音が鳴り、解錠されたことを確認します。
❺ マーキングを外してください。
❻ 窓ガラスの室外側に受け具をかくすようにセキュリティ警戒シールを貼ります。
❼ 電池を外し、本説明書とともにお客様にお渡しください。（電池の外し方は取扱説明書を参照してください。）

以上で、窓施錠センサーの取付作業は完了です。
本体および受け具は貼り付け後、所定の強度に固着するまで72時間必要です。



⚠ 注意

**受け具が固着するまでの間に、窓施錠センサーを施錠したまま窓を開けるなど、受け具に強い力がかからないようにしてください。
受け具が脱落し十分な防犯性能が得られない上、作動不良・誤報の原因になります。**

お問合せダイヤル（無料）
0120-228-481
月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時
（ナンバーディスプレイを使用しています）

MAX マックス株式会社
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
TEL 03-3669-8112（代） FAX 03-3669-8135

初版 2010年1月